

情報通信アクセス協議会の 活動概要

 情報通信アクセス協議会

情報通信アクセス協議会
(事務局)一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
ICT機器部
(東京都中央区日本橋兜町21-7)

© 2018 Info-Communication Access Council

本日のメニュー

 情報通信アクセス協議会

1. 協議会発足の経緯
2. 協議会の目的
3. 協議会の構成
4. 協議会の活動概要

© 2019 Info-Communication Access Council

1. 協議会発足の経緯

情報通信の利用による高齢者・障害者の福祉を増進することを目的に、

- 総務省(旧郵政省)と厚生労働省(旧厚生省)の合同による「ライフサポート情報通信システム推進研究会」の開催
- 最終報告書(2000年6月)における2つの提言
 - (1) 高齢者・障害者の情報通信の円滑な利用を可能とするために電気通信設備が備えるべき機能を示す“電気通信設備のアクセシビリティ指針”の策定
 - (2) その指針の普及・定着・見直し等を実施するために関係機関による運営協議会の設置

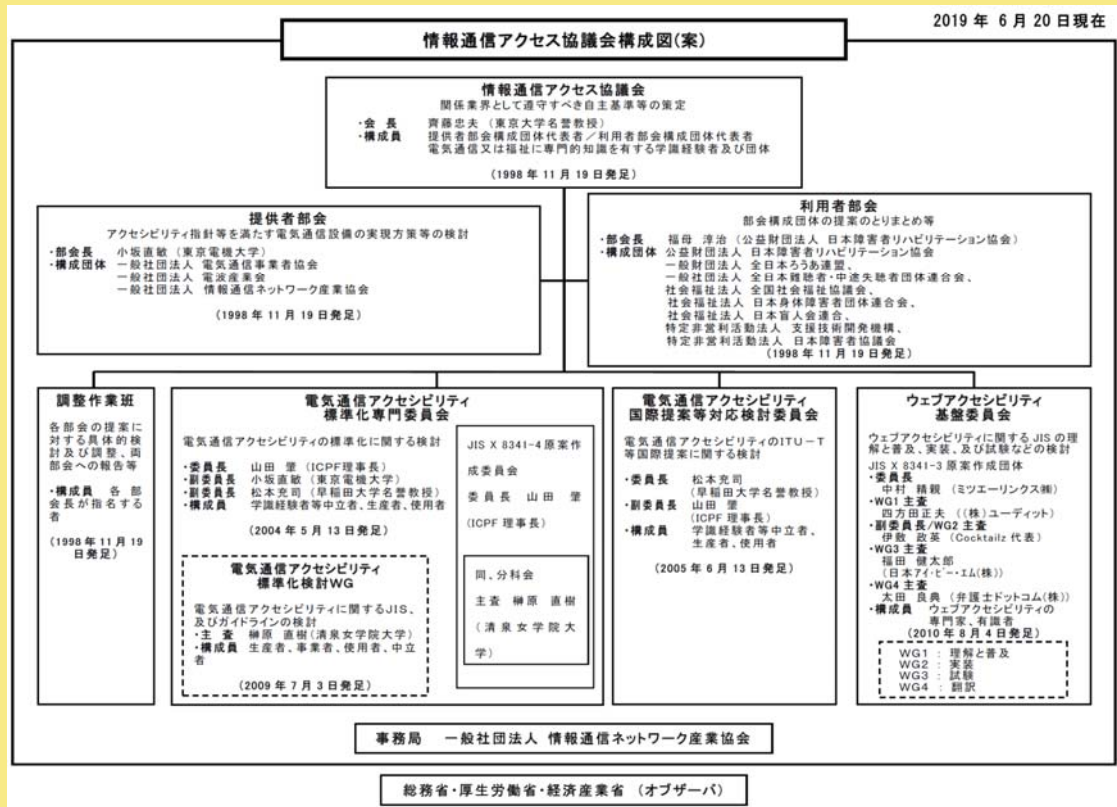
(1)については、郵政省(現総務省)が「障害者等電気通信設備アクセシビリティ指針」を作成し、平成10年10月30日郵政省告示第515号で告示。

(2)については、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)が設立発起事務局となり、電気通信の提供者団体、利用者である障害者・高齢者団体及び学識経験者による「電気通信アクセス協議会」を1998年11月19日発足。(2003年7月16日「情報通信アクセス協議会」と改称)

2. 協議会の目的

障害者・高齢者を含む全ての者が電気通信設備及びサービスを円滑に利用可能なものとする(アクセシビリティを確保する)ことを通じて、我が国の電気通信の均衡ある発展に貢献する。

3. 協議会の構成



4. 協議会の活動概要

(1)「障害者等電気通信設備アクセシビリティガイドライン第1版」の制定 (2002年7月6日)

- 電気通信設備及びサービスの企画・開発・設計にあたってアクセシビリティ上考慮すべき事項について自主的指針として規定し、アクセシビリティシンボルマークを制定し、対象製品をHPで公開。

商品選択の容易性等を目的にパンフレット、取扱説明書、製品本体等に記載



Uはユニバーサルであることを現し、二つの●は、人と人の触れ合い、コミュニケーションや、作り手と利用者の良好な関係を表現しています。

- 政府調達への適用検討(日本版VPAT(仮称)の検討)
 総務省・デジタル活用共生社会実現会議ICTアクセシビリティ確保部会で提言された米国リハビリテーション法508条を参考にした「日本版VPAT」の検討に参画している。

(2)「Uマーク」の開発途上国への普及提案(2018年9月)

- ITU-D(国際電気通信連合開発部門)会合に日本のUマーク認証システムを説明し、開発途上国での通信機器利便性向上のための取り組みとして各国若しくはITUとしての同様システムの構築を提案。

ホームページ例

[トップページ>>](#) | [サイトマップ](#)

アクセシビリティを考慮した商品及びチェックリスト

障害者等電気通信設備アクセシビリティガイドライン第1版(平成12年7月6日制定)では、本ガイドラインに照らしてアクセシビリティを考慮していることが確認された商品について、当該商品の提供者は本ホームページに公表することができることとしました。
以下にアクセシビリティ考慮商品及びその評価を行ったチェックリストを示しますので、これら内容を参照して商品選択等に活用頂ければ幸いです。
なお、本内容は製造メーカーなど商品の提供者からの情報提供に基づいて逐次掲載商品を追加していきます。

携帯電話(スマートフォン含む)の多機能化を踏まえ、専用のチェックシートを新たに公開しています。(2015年1月～)なお、これ以前の携帯電話(スマートフォン含む)のチェック結果は、従来版(固定電話等に関するチェックシート)による結果を掲載していますので、ご了承ください。

- [携帯電話等アクセシビリティ配慮チェックシート\(製造メーカー様記入用\)](#)
- [固定電話等に関するアクセシビリティ評価チェックシート\(製造メーカー様記入用\)](#)
- [NTT東日本/NTT西日本の商品へ](#)
- [NTTドコモの商品へ](#)
- [ユニコムの商品へ](#)
- [日本電気の商品へ](#)

NTT東日本 NTT西日本

IPテレホンUD (UD-標準電話機)	ひかり電話専用ホームテレホン(IPテレホンUD)の内線端末として、ユーザのスキルや嗜好に合わせて選択可能な"操作性"やタッチパネルによる"直感的なユーザーインターフェース"を搭載したユニバーサルデザイン電話機です
ふれあいS	視覚に頼らない操作ができ、また、制御スイッチSや呼気スイッチを接続し、ア手をかわらずにダイヤルできます

© 2019 Info-Communication Access Council

4. 協議会の活動概要

アクセシビリティ考慮商品例



コードレス骨伝導電話機
(SANYO)



FOMAらくらくホン F880iES
(NTTドコモ)

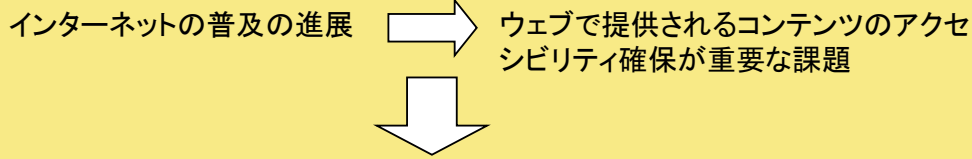


らくらくホンⅢ F672i
(NTTドコモ)

© 2019 Info-Communication Access Council

4. 協議会の活動概要

(3) ウェブアクセシビリティ向上の取組み

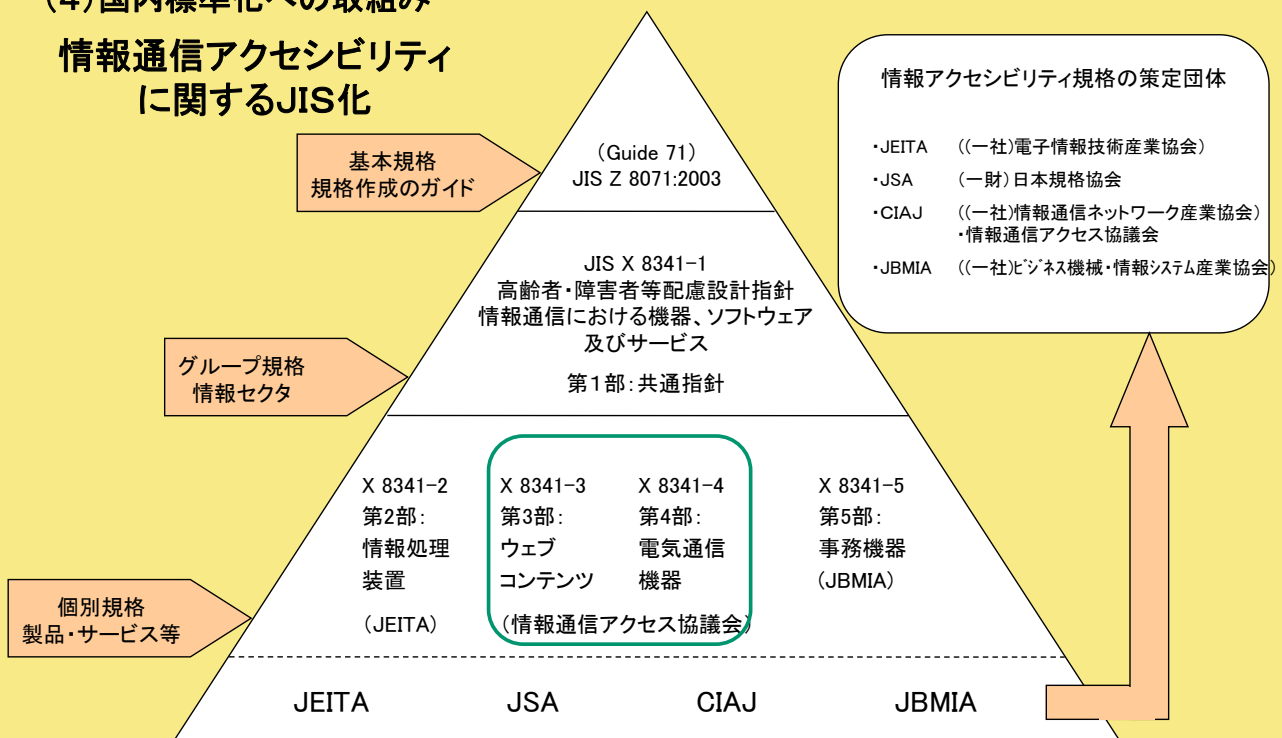


- JIS X 8341-3(高齢者・障害者等配慮設計指針 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス:ウェブコンテンツ)の普及
 - ー セミナ開催
2018年度はセミナを年1回開催。(他にWebセミナを計画中)
 - ー HPでのQA対応
(<https://waic.jp/> で随時お受けしています。)
 - ー JIS改正検討
現JISは2016年に改定しており、更新が必要か検討中。
- 公的機関、一般企業におけるウェブアクセシビリティ方針策定と試験結果表示の実態調査
 - ー 47都道府県等の機関のHPについて、自主的に年4回実施。
 - ー WCAG 2.0解説書、WCAG 2.0達成方法集、WCAG 2.0クイックリファレンスの公開

4. 協議会の活動概要

(4) 国内標準化への取組み

情報通信アクセシビリティに関するJIS化



ご清聴ありがとうございました。

ü 情報通信アクセス協議会

